

ABY-Soft Touch v2 User Manual



各コントロールについて

Channel A Buffer Switch A-Out のみに影響を与える高品質 JFET バッファ回路の ON/OFF。バッファ ON 時は複数のペダルや、長いケーブルなどによるトレブルのロスや全体的な信号レベルのロスを防ぎます。特定のファズペダルがバッファの低インピーダンス信号にうまく反応しない場合は OFF に設定します。

Channel B Buffer Switch B-Out のみに影響する 2 つ目の高品質 JFET バッファ回路を ON/OFF します。

Channel B Ground-Lift 通常は「Grounded」に設定します。B-Out のアースを「LIFT」可能ですが、安全上の理由から、アースを LIFT することは推奨しておりません。このスイッチを「Lifted」に設定すると、B-Out に接続されたアンプのハムノイズが減少することがあります。

Channel B Phase Both のフットスイッチを使用時、アンプ同士の「位相がずれて」しまい、音が弱くなった際に位相を変更します。位相をチェックするには、2 台のアンプを真正面に置き（約 1.5m 以上離し）、どちらも壁から同じ距離に置きます。アンプの電源を入れ、Both スwitch を押し、コードを鳴らしながら Phase スwitch を (+) から (-) に動かします。もし、片方のスイッチの設定で、低音が下がり、音が中央からではなく、左右の遠くから聞こえてくるようであれば、アンプが「位相がずれている」ので、Phase スwitch を反対方向に設定する必要があります。トゥルーパス・フェイズ・スイッチの正しい設定はアンプによって異なり、アンプのチャンネルによっても異なります。

A or B Footswitch A-Out B-Out のいずれかに信号を送るかを選択します。黄色の L.E.D が点灯している場合、信号は A-Out、緑色の L.E.D が点灯している場合、信号は B-Out にのみ流れます。

Both Footswitch A-Out と B-Out に同時に信号が流れます。

入出力について

INPUT 1/4" モノラル標準フォン入力端子

A-OUT 1/4" モノラル標準フォン出力端子

B-OUT 1/4" モノラル標準フォン出力端子

電源について

DC INPUT

高品質で安定化された 2.1mm x 5.5mm プラグの 9 ~ 18VDC センターマイナス電源で動作します。

ABY-Soft Touch v2 について

私のスタジオには、1959 年製の Bassman から、1959 年製のフォーンカラーの Vox AC15、60 年代の Fender Blackface の全ラインナップ、1966 年から 1971 年にかけての Marshall の 50 ワット & 100 ワットアンプの全年代まで、約 50 数台のヴィンテージ・アンプがある。80 年代半ばにエリック・ジョンソンが NAMM ショーで素晴らしい演奏を披露してくれたが、最も印象的だったのは、鈴の音のような OD に適したフェンダーのトーンと、巨大で暖かく、ファズに適したヴィンテージ・マーシャルをまるで 2 人のギタリストのように常に切り替えていたことだった。サウンドチェックのとき、エリックはこの好奇心旺盛な 23 歳の若者にセットアップの説明をしてくれた。私はすぐに、自分のジャズ / ロック / ブルース・ミュージックで 2 ~ 3 台のアンプを切り替えたり組み合わせたりして、自分自身の音色のパレットを広げることに着手し、エフェクトやアンプの設計、修理、改造に没頭するようになり、最終的に「Fulltone」を立ち上げるに至りました。

私は、True-Path ABY スwitchャーを、アンプを組み合わせることで発生するすべての問題を解決し、価格的にも絶対的に透明なサウンドを実現するために設計しました。他のすべての ABY は、スイッチング時に大きな音がします。私は、出力間を素早くパンする回路を開発し、このサウンドを完全に排除しました。名前の Soft Touch は、フットスイッチがスムーズに作動し、ノン・ラッチのモメンタリー・フットスイッチを備えていることを意味します。ABY-ST v2 は v1 より 25% 小型化され、回路に変更はありません。